

『事前復興まちづくり計画策定の流れ（予定）』

令和7年度以降も計画策定にあわせて、継続的に地区での話し合いの場を設けます。皆さまの意見をもとに、地区毎の復興まちづくり計画としてまとめていきます。  
※以下は予定のため、今後変更になる可能性があります

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
計画策定の取組	→ 計画策定			
有識者委員会等	▼	▼	▼	▼
地区での検討	第1回（今回） 地区の状況を共有する	第2回（仮） 復興目標を考える	第3回（仮） 土地利用を考える	第4回（仮） 地区での準備を考える
				パブリックコメント

お問い合わせ

大月町役場 総務課 危機管理室  
〒788-0302 幡多郡大月町弘見 2230 番地  
Tel : 0880-73-1140 Fax : 0880-73-1380



ホームページ



OTSUKI\_JIZENFUKKO

大月町事前復興まちづくりの様子をホームページやインスタグラムで発信しています！ぜひフォローしてください！



# 大月町 事前復興 まちづくり かわら版

一切

第1号

事前復興計画に向けた地区座談会を開催。地区についてたくさんの意見がでました！

2024年11月28日（木）15:00～17:00、一切漁協 2階にて事前復興計画に向けた地区座談会を行いました。

地区座談会では、地区にお住まいの皆さまで改めて地区の状況を共有することを目的に、まずは、被災後も残していきたい「地区の強み・魅力」、復興まちづくりに併せて解消したい「地区の弱み・課題」を出し合いました。

その後、「地区の魅力を伸ばす」「地区の課題を解決する」ためのアイデアを出し合い、最後に「復興まちづくりの方向性」を話し合いました。

今回の結果を踏まえ、来年度以降も地区での話し合いの機会を設けていく予定ですので、今回ご都合がつかなかった方を含め、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



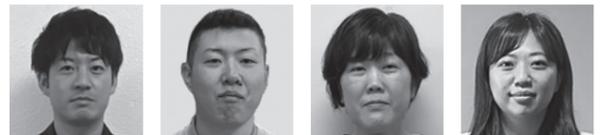
令和6年度から8年度まで事前復興の取組として、沿岸18地区の皆さまと話し合いを行います。

大月町は東日本大震災後から続けている避難路整備を始めとした町民の皆さまの命、生活を守り繋げる「防災」の取組と併せて、令和5年度より、災害が発生した際にどのように町や地域を復興するのかを予め考える「事前復興」の取組を開始しました。特に、南海トラフ地震による津波で被害の発生が危惧される沿岸18地区において、令和9年度の計画策定を目標に、令和6～8年度までの3年間、地域の皆さまと話し合いをしながら、地区別に復興の形を一緒に考えていきます。



大月町役場  
一切の担当職員の紹介

令和9年度の計画策定にむけ、4名の町職員が地区担当職員として地域での話し合いを支援します。



濱田 剛瑠 島崎 陸 宮崎 朱美 浦尻 真穂

一切の皆さまと一緒に、防災や復興について、いろいろと考えていきたいと思っています。

これからよろしくお願いします。

皆さまと話し合った内容を  
2～4ページにまとめています。

### 自然環境が良い！

- 良さ**
  - 海がきれい
  - アコウの樹がある (ブランコが付いている)
  - 地盤が強い
- 課題**
  - サルに畑の野菜を盗まれる

### 宿泊施設など観光資源がある

- 良さ**
  - おさる公園がある(おさる番がいる)
  - ダイビングができる
  - サンゴ礁
  - 景色がきれい
  - 星空がきれい
- アイデア**
  - 綺麗な星空を生かしたイベントを行う

### 道路・公共交通のこと

- 課題**
  - 主要道に大きな石がある
  - 小学校の下のカーブ付近葉、土がつまり水があふれている
  - 側溝(むかい)3つのうち2つしか直っていない
  - バスの便が少ない(上までいかないといけなくなる)
  - 車がなくて出かけるのが難しい
- アイデア**
  - 町バスを各地区にも回してほしい

### 暮らしのこと

- 良さ**
  - 近所同士のコミュニケーションが多い
  - 顔見知りが多い
  - 2,3人集まっておしゃべりをする
  - コミュニティがある
  - 足腰が強い
- 課題**
  - 街灯が少ない
  - 空き家が多い
  - 空き家の老朽化
  - 放棄した家は誰が管理するのか
  - 買い物が不便
  - 若者がいない
  - 住み続けるのが難しい
  - 働く環境が悪い
  - 集会所がない
  - 体育館は雨漏りをしている
  - 体育館にトイレがない
- アイデア**
  - 人口を増やす
  - 急傾斜対策
  - 所有者不明の空き家などは町が代理で壊すようにする

### 文化について

- 良さ**
  - 神輿があり、祭りに賑わいがある
  - 海に関する祭りがある
- 課題**
  - 地域の伝統を残していない
  - 地区イベントができなくなっている

### 防災について

- 良さ**
  - 津波の心配がない
  - 井戸がある
- 課題**
  - 地区のなかで場所によって断水が多い。豪雨災害の際には水が2週間出なくなった(イサギ谷)
  - 避難所まで遠く、逃げられるか不安
  - 避難場所にトイレがないなど、設備が良くない
  - 大雨で浸水しやすい(むかい)
  - 山崩れで孤立してしまう
  - 家の裏のがけ崩れが怖い
  - 雑木が多い
  - 倒木などの恐れがある
  - 高齢者が多く、車イスで通れる避難道路がない
  - 避難道が荒れている
  - 避難場所が山の中で電気がない
  - 階段がきつく、避難しにくい
- アイデア**
  - 地域で避難・防災の体制を作る
  - 体育館のトイレ修繕
  - 避難先の非常食などの物資を町が用意してほしい
  - 弘見まで避難できないので一切地区に避難場所を設けてほしい
  - 排水を改善してほしい(宮ノ谷)
  - 水道の技術者を役場においてほしい
  - 道のがけ崩れ対策

### 漁業について

- 良さ**
  - 定置網がある
  - 小型漁船がある
- ↓
- アイデア**
  - 海路からの物資輸送や段取りを町主導に

### まちづくりの方向性

- 生活・自然環境
  - 若い人を呼び込む
  - 便利な地区にする(店や交通の便など)
  - 漁業は船がある限り続ける
  - 道路沿いに集まって住みたい(車が入れる広い道路にしてほしい)
- 交通
  - 道路わきの樹木の整備(国立公園のルール)
- 防災
  - 発災後も一切で再建する(コミュニティごとの移転なら良い)
  - 数年内に発災が予想されるなら一切に住み続ける
  - 避難所まで逃げられないなら移転をする
  - 水質検査で安全性を確認できれば災害時に利用可能(井戸)
  - 危険な場所などが記された防災マップを作成する